３．企画展示事業（平成 29 年度の展覧会）

本多氏入封 400 年記念（第 75 回企画展）「膳所城と藩政－築城から幕末十一烈士事件まで－」の結果について

【会　期】平成３０年３月３日（土）～４月１５日（日）
【会　場】大津市歴史博物館　企画展示室Ａ
【主　催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館
【協　力】膳所藩資料館
【入場料】一般 600 円（480 円）　高大生 300 円（240 円）　小中生 200 円（160 円）
【入館者数】４，９９０人
【出陳件数】７５件
【期間中の関連講座】

3 月 10 日（土）幕末の悲劇―膳所十一烈士事件―　講師：樋爪　修（本館館長）	参加人数　140 人
3 月 17 日（土）膳所城下町を探る　講師：樋爪　修（本館館長	参加人数　44 人
3 月 24 日（土）膳所藩の飛地支配　講師：郡山志保（甲南大学非常勤講師）	参加人数　103 人
4 月 7 日（土）膳所城と粟津晴嵐の景観について　講師：横谷賢一郎（本館学芸員）	参加人数　124 人
4 月 14 日（土）膳所縁心寺文書を読む―藩主の菩提所とその史料― 講師：高橋大樹（本館学芸員）	参加人数　111 人

【展覧会の成果】

・膳所藩本多氏初代康俊が膳所に入封して 400 年を記念した展覧会。これまで当館では、膳所をテーマにした展示を開催しておらず、膳所城や藩政のみならず、城下町の移り変わりも意図した初めての企画展。全 4 章構成とし、膳所城、藩主・家臣団、藩政、幕末の烈士事件といった膳所（城・藩）を考えるうえで重要なポイントに絞って構成した。
・膳所藩資料館（本多神社内）にある藩主本多家ゆかりの品々をはじめ、本多文庫に収まる歴史資料などを多数出陳し、当館所蔵の膳所藩関係資料および滋賀県立図書館の絵図・記録類を合わせ、藩史全体を通覧することができた。
・廃城以降の城門の移築や町並みの変化も理解してもらいやすいように、現況写真や現在の地図も展示した。
・膳所城下を取り扱うということで、関係寺社や支所を中心に重点的にチラシを配布。また、駅貼り広告についても、藩政において飛地であった河内長野市駅にも掲出し、告知した。
・例年の春展示の来館者動向に加え、膳所在住の方々、藩士のご子孫の方々、膳所藩領だった地域に住む方々に足を運んでいただいた。特に、子孫の方々からの質問や問い合わせが多かった。

【反省点】

・大津だけでなく、近江・京都の中でも重要な位置を占める膳所藩について総括的に取り上げることができた（東海道宿駅の把握、京都禁裏火消役、京都屋敷の存在など）。400 年という節目の年を契機とするものであったが、膳所に関する展示を開催することは、当館の長年の課題でもあった。
・協力先の膳所藩資料館（本多神社）の資料は、長年館外不出であったが、今回本多神社の全面的なご協力により、展示開催につなげることができた。
・一方で、膳所藩資料館の資料すべてを調査できたわけでなく、特に資料館付設の本多文庫資料の大半は未整理であり、今後膳所および膳所藩の歴史情報を蓄積するために、調査延長をお願いし、快諾いただいた。